

作成例

あくまでも一例です。実施工事に
あった書類の添付をお願いします。

令和 年 月 日

大阪外環状鉄道株式会社

代表取締役

●●●● 様

申請者

住 所

氏 名

電 話

印

.....おおさか東線 ●●駅～●●駅間●●k●●付近(左・右)●●工事について.....

標題について下記の通り協議いたします。

1. 工事件名 (施主側の件名)
2. 工事場所 (住所)
3. 施工目的
4. 予定工期 全体工期 (鉄道近接箇所の工期を明確にする)
令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日
5. 施工会社
6. 連絡先
7. 添付資料 施工計画書
 - (1) 施工方法
 - (2) 工程表 (工種ごとのサイクルタイムが分かるもの)
 - (3) 位置図 (1/2500程度の地図及び詳細地図)
 - (4) 平面図 (1/250程度の図面、線路の位置を記入)
 - (5) 断面図 (鉄道施設との位置関係がわかるもの)
 - (6) 施工図(重機使用図、足場仮設図等)
 - (7) 安全対策 (事故防止計画書、緊急連絡体制表)
 - (8) その他 (高所作業車のカタログ、現状写真)
8. その他

記入例

あくまでも一例です。実施工事に
あった安全対策の記入をお願いします

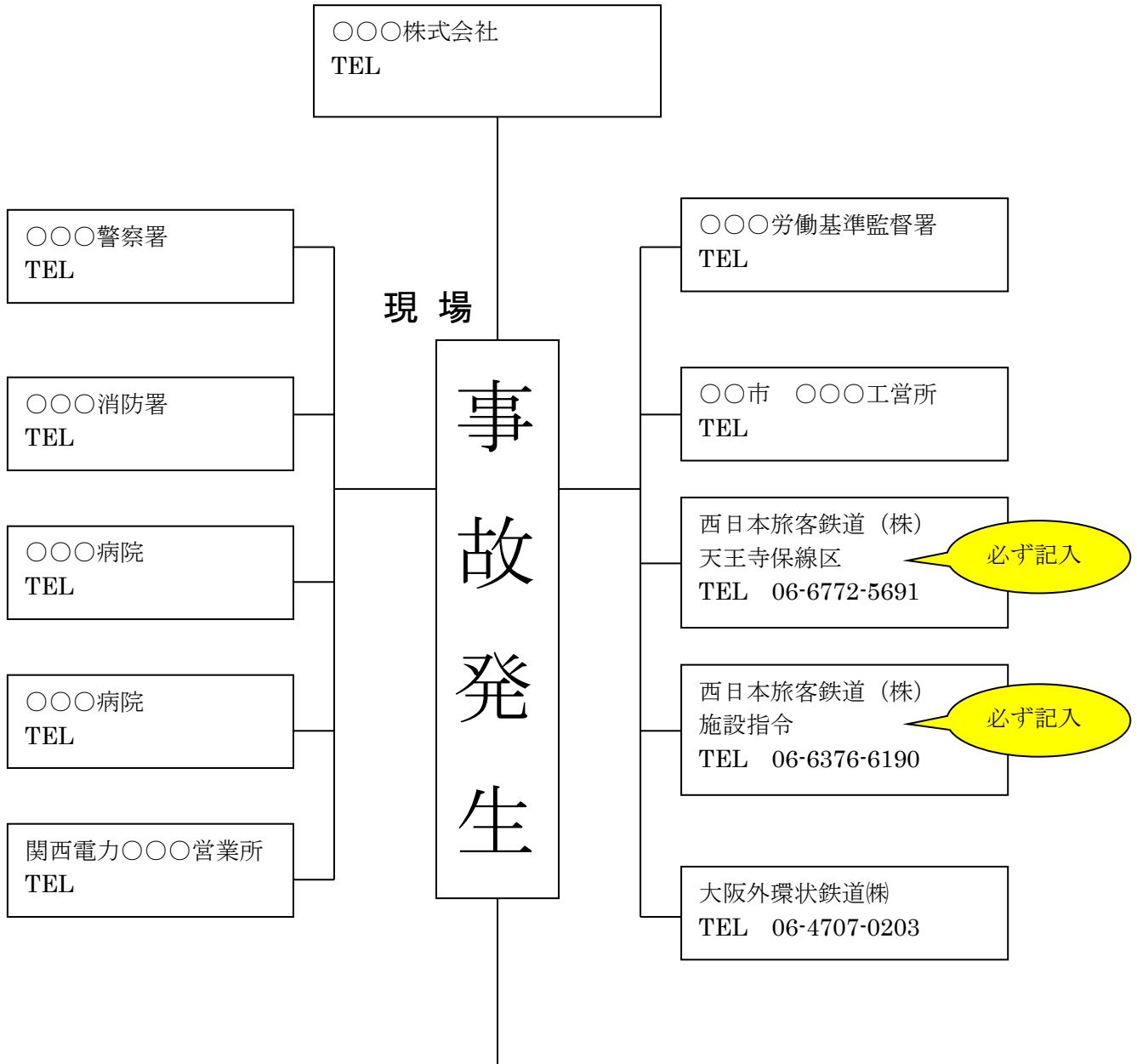
安全対策

営業線近接施工に伴う安全対策

項目	確認事項
安全教育	着工前に、鉄道近接工事のための安全教育を全作業員参加のもと行い、協議書の内容、注意事項、危険箇所等を周知徹底します。
防護設備 (仮設備を含む)	養生シート、使用材料等これに類する物の線路側への飛来落下防止対策を十分検討のうえ施工します。
重機使用 (0.025 m ³ バックホー使用) ※使用機械ごとに記載	作業前に作業員と危険箇所及び注意事項の確認を行います。
	重機の使用に当たっては、JR高架構造物に損傷がないよう施工し、JR基礎構造物にも損傷がないよう施工します。
	重機の振り上げ高さに注意し、JR高架を超える振り上げは行いません。
水道管新設 ※埋設管ごとに記載	新設する配水管はJR高架橋の基礎部に接触しないように敷設します。
	JR高架下及び高架雨だれより3mの範囲は人力により慎重に掘削を行い、JR基礎構造物を損傷しないよう施工します。
異常時対応	異常発生時は、即座に作業を中止するとともに列車の安全確保に努め、速やかに関係各所に連絡します。
強風・台風時の 対策・対応	台風接近時には作業を中止する。養生シートは足場に括り付け、足場の設置状況を点検する。 屋上や足場上に飛散するものがないか確認を行う。 台風が過ぎるまでは責任者が現場にて監視を行う。 強風時(風速10m/s以上)も同様の体制で飛散物・落下物がないか確認を行う。

記 入 例

緊急連絡体制表



【現場】		〇〇〇株式会社	◇◇◇◇	作業所		
					TEL	06-
現場代理人	◎	◎	◎	◎	TEL	090- (携帯)
監理技術者	◎	◎	◎	◎	TEL	090- (携帯)
安全衛生推進者	◎	◎	◎	◎	TEL	090- (携帯)
現場担当者	◎	◎	◎	◎	TEL	090- (携帯)